

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

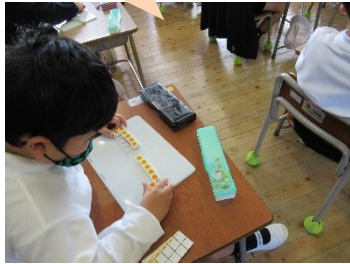
下松市立公集小学校

学習指導の工夫

子どもの思いや願いを生かした学習活動を構成し、学びを豊かにする。

きめ細かな指導体制の確立

算数科の学習では操作活動を大切に、個に応じた指導を継続することで、学ぶ意欲を高めています。



個人での学習が身に付いているため、道徳科の授業では、自分の考えをワークシートいっぱい書き込んでいます。

ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れることで、学び合いを深めました。



自分の考えをブロックを使いながら分かりやすく学級の友達に伝えています。

成果

各教科の学習等において、表現活動や作業的学習を積極的に取り入れ、個に応じた指導の充実を図った。また、ペア学習やグループ学習など学習形態を工夫した。30人学級化によりきめ細やかな指導体制を確立することができた。

人と関わる力の育成



「絆を深めよう集会」で異学年交流を楽しんでいます。

「あきまつり」では、園児を招待し、一緒に手作りのゲームをしました。



「歯の王様を守ろう」では、養護教諭に歯磨きの仕方を教わりました。

生活科「お手伝い大作戦」では、保護者の方に靴洗い、掃除、皿洗いなどの仕方について教えてもらいました。



成果

異学年・異校種交流や担任以外の教員による授業、コミュニティ・スクールの取組を通して、一人ひとりにしっかりとかわる本校の子どもに育成をめざす資質・能力を伸ばすことができた。